

# 「甲子園」戦必勝

## 光星野球部、市庁で決意

第104回全国高校野球選手権大会（8月6日）に本県代表として出場する八戸学院光星硬式野球部の選手らが29日、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に甲子園への意気込みを語った。

訪問したのは同校の村良寛校長、仲井宗基監督、小坂貫志部長、主将の洗平歩人投手、織笠陽多外野手、野呂洋翔内野手の6人。

洗平歩が「青森大会で乗り越えた厳しい戦いを糧に、甲子園でも一戦必勝で頑張りたい」と決意を述べ、熊谷市長は「一球一球、一瞬一瞬を積み重ね、悲願の初優勝を目指して頑張ってください」とエールを送った。

市は同日、市庁本館の

外壁に縦約1.5m、横9.5mの応援看板を設置。選手らも設置作業に立ち会った。また熱中症対策に役



八戸市庁に設置された応援看板の前で記念写真に納まる八学光星の選手ら

立ててと、八戸圏域水道企業団がミネラルウォーター「八戸水物語」300本をチームに贈った。6人は同日、東奥日報社八戸支社も訪れ、荒谷達也支社長に大会での抱負を語った。

（野村遥）